

IT政策パッケージー2005
—世界最先端のIT国家の実現に向けて—
(抜粋)

平成17年2月24日

IT戦略本部決定

「我が国が5年以内(2005年)に世界最先端のIT国家となる」(「e-Japan戦略」、2001年1月)——この目標を掲げて以来、4年余、IT戦略本部を中心とし官民の総力を挙げ、通信インフラや電子商取引市場の整備など、さまざまな取組を実施してきた。その結果、我が国のIT化は大いに進展した。今や我が国のインターネットは世界で最も速く、安くなり、また電子商取引市場は米国に次いで世界第2位の規模となるなど、目覚ましい成果を上げた。その一方で、電子政府、医療、教育分野などITの利用面においては、国民が安心して真にITの利便性を実感できるための課題が残されている。

目標の年を迎えた今、取組を緩めることなく、利用者の視点でラストスパートをかけるとともに、引き続き世界最先端であり続けるための取組を行ってゆく必要がある。このため、ここに「IT政策パッケージ-2005」を策定し、行政サービス、医療、教育など国民に身近な分野を中心として取組をさらに強化するとともに、ITがもたらす問題点を克服する。「e-Japan重点計画-2004」の確実な実施に加え、この政策パッケージを早急に実行することにより、IT利用・活用を一層進め、国民がITによる変化と恩恵を実感できる社会の実現に向けて取り組んでゆく。

(中略)

住民向けワンストップサービス実証に向けた官民連携ポータルサイトの構築支援

(総務省、経済産業省)

地方自治体、重要インフラ等の民間企業が連携し、官民の生活関連サービスに係る申請、申込み、問い合わせ等を一元的に取り扱い、処理するため、2005年度に、個人情報保護、個人認証の適切なあり方、各主体のデータの整合性の検討結果をふまえ、現行の技術を活用した官民連携ポータルの実証試験を行い、ワンストップサービスの今後の展開のための技術面等の対応策を2005年度末までにとりまとめる。

(後略)